

国民宿舎「水郷」について



安藤真理子議員

**質問** 市の拠点施設として、市内外から数多くの方に利用されてきたが、施設の老朽化などで厳しい経営を強いられてきた中、今回の大震災の被災施設となった。しかし、観光の拠点施設や災害時の支援施設として、きちんと整備し潜在観光客を集客すると大きな経済効果が期待できるとされている。さらには、多くの市民から、存続を強く願う意見が寄せられているが、国民宿舎「水郷」の再建についての考えを伺う。

**産業部長** 国民宿舎「水郷」は、今回の大震災により、建物や設備などに甚大な被害を受け、営業を休止していたが、被害の少ない入浴施設霞浦の湯及び会議室棟は修繕を施し、順次営業を再開したところである。しかし、宿泊棟は使用できないと判断し県知事あてに営業停止届を提出した



国民宿舎「水郷」

ところである。「水郷」は、施設の老朽化などから利用者ニーズに対応できず、利用率が低下し厳しい経営状況に陥ったことから、今後の方向性について様々な角度から検討を行うとともに、職員意識改革にも取り組んできた。さらに昨年度は、国民宿舎「水郷」再生調査を実施し、再生の方向性の検討を行った。市民から建て替え存続を望む声が大きくなっているということは承知しているが、これまでの調査検討を積み重ねた中で、新たな施設整備について、さらに市民や議会の意見を聞きながら、総合的に判断してまいりたい。

市長の今後の市政運営について



篠塚昌毅 議員

**質問** 新たな飛躍に向けた施策・事業を推進するとともに、2期8年の集大成として、不撓不屈の精神をもって市民の負託に応えると、23年度の市政運営に取り組む決意を表明したが、市長就任以来7年7ヶ月を、自身どう評価するか。また、11月に市長改選を迎えるが、今後の市政運営をどう考えているかを伺う。

**市長** 市長としての責務を全うすべく、多岐にわたる課題に真正面から挑んできたが、まだ道半ばの取り組みもある。加えて、我が国の社会経済情勢は東日本大震災により混乱と閉塞感が一層深まる中、急激な少子・高齢化の進展と人口減少社会の到来、あるいは長引く景気低迷、そして地球規模でのエネルギー問題など多岐にわたる課題が目の前に山積しているが、これ

らの難局を乗り越え持続可能なまちづくりを進め、輝かしい未来を次代に引き継いでいくことが、私たちに課せられた責務と思う。さらに、これまで2期8年の市政運営の取り組みの中でまいてきた種は、芽を出し育ち始め、これから豊かな実を結ばせる大事な時期を迎えていると思っており、議員、そして市民の支持を得られれば、これまで培ってきた行財政基盤を糧として、引き続き期待に沿うべく、土浦市の発展のために全力を尽くす覚悟である。

**(掲載以外の質問事項)**

- ・同報系防災行政無線の利活用について
- ・荒川沖地区野球広場の整備推進の現況について



土浦市議会

会派一覧

◎代表者

会派名	氏名
日本共産党	◎久松 猛
土浦市議団	古沢 喜幸
市民ネット21	◎柏村 忠志
民主党	◎藤川 富雄
新友会	◎安藤真理子 柴原伊一郎 入江勇起夫 鈴木 一彦
市政改革クラブ	◎寺内 充 折本 明 竹内 裕 吉田 博史
公明党	◎福田 一夫 荒井 武 吉田千鶴子
土浦市議団	白戸 優子 平石 勝司
新社会党	◎井坂 正典 ◎矢口 迪夫
創政会	◎松本 茂男 沼田 義雄 内田 卓男 川原場明朗 中川 敬一 矢口 清 海老原一郎 篠塚 昌毅
会派に属さない議員	柳澤 明